Fukushima Bank 2022

ディスクロージャー誌〔情報編〕
2021年4月1日～2022年3月31日

FUKUSHIMA BANK DISCLOSURE

ふくぎん 2022年カレンダーフォトコンテスト 優秀賞
「秋元湖の目覚め」天野 伸(会津若松市)

おかげさまで 100th
福島のために
お客さまのために
そして未来を育むために

福島銀行

目　次

ごあいさつ　・・・1
決算の概要　・・・2
中期経営計画進捗　・・・4
SBIグループとの連携　・・・5
2021年度の主な取組み　・・・6
ふくぎん10の感謝　・・・7
DX化に向けた取組み　・・・10

会社概要

本社所在地	福島県福島市万世町2番5号
電話番号	024-525-2525（代表）
設立年月日	1922（大正11）年11月27日
資本金	186億円
従業員数	623名（うち正社員476名）
店舗数	57店舗（5出張所、2ｿﾘｭｰｼｮﾝﾌﾟﾗｻﾞ、1ﾛｰﾝﾌﾟﾗｻﾞ、1ﾈｯﾄ支店含む）
預金残高	7,759億円
預かり資産	988億円
貸出金残高	6,136億円（私募債含む）
自己資本比率	7.31%（単体）
連結子会社	㈱ふくぎんリース＆クレジット ㈱東北バンキングシステムズ 福活ファンド投資事業有限責任組合

役　員

取締役社長	加藤　容啓
常務取締役	佐藤　明則
取締役	佐藤　俊彦
取締役	鈴木　岳伯
社外取締役	纐纈　晃
社外取締役	二瓶　由美子
社外取締役	長谷川　靖
常務執行役員	宮下　恵洋
執行役員	横山　利幸
執行役員	渡辺　敦雄
執行役員	草野　真之
常勤監査役	箭内　貴志
社外監査役	新開　文雄
社外監査役	鈴木　和郎

ごあいさつ

株式会社福島銀行
取締役社長

加藤（かとう）　容啓（たかひろ）

皆さまには、平素より福島銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

2022年3月期決算の概要や、新しい中期経営計画に則った取組みをディスクロージャー誌（情報編）に取りまとめましたので、ご一読くだされば幸いです。

地域金融機関を取り巻く環境は人口減少、少子高齢化に加え、長引く超低金利により一段と厳しさを増しております。また、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う経済活動の制限、ロシアのウクライナ侵攻への対抗措置である経済制裁に起因する、原油・原材料高騰は地域社会に多大な影響を与える懸念が生じております。

このような環境のもと当行は中期経営計画「ふくぎん福島創生プロジェクト」を策定、スタートさせています。2019年11月に資本業務提携契約を締結したSBIグループとの連携を一層強化し、本業支援、DX化の推進、人材育成に積極的に取組み、地域創生に貢献してまいります。

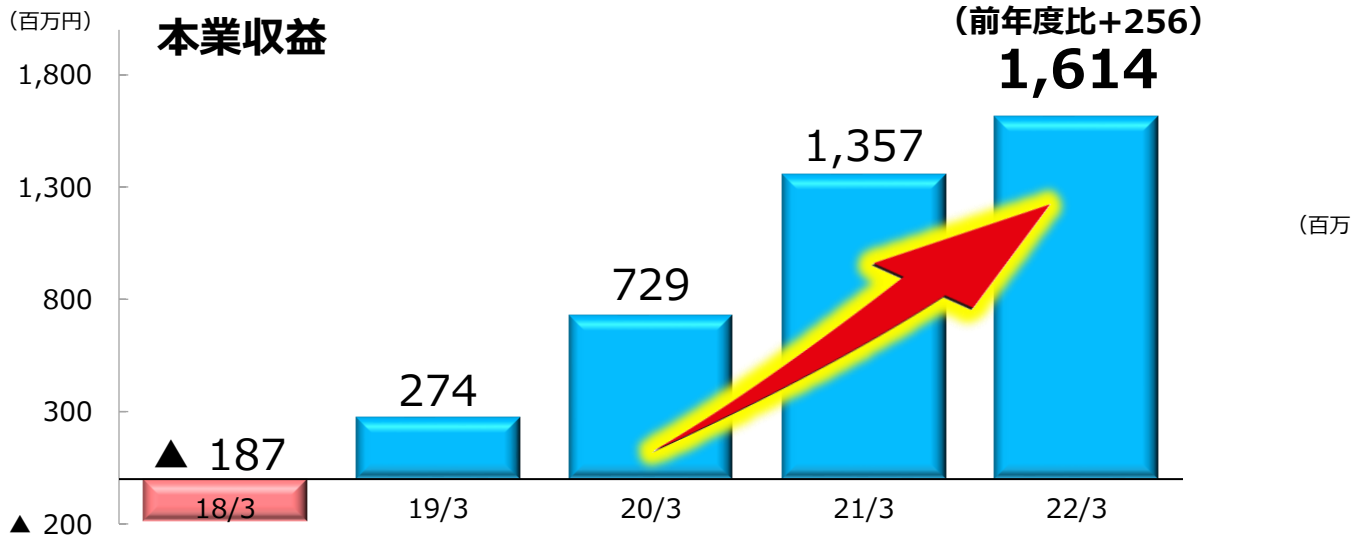
また当行は、2022年11月に創業100周年を迎えます。こうした節目の年を迎えることができますのも、当行に関わっていただいた多くの皆様方のあたたかいご支援、ご愛顧の賜物であり深く感謝申し上げます。皆様への感謝の気持ちをこめて100周年記念事業「100周年記念　ふくぎん10の感謝」を展開いたします。「福島のために、お客さまのために、そして未来を育むために」の理念のもと本業支援、SDGsへの取組み、各種団体への寄付等の施策を実施してまいります。

100周年を迎え、次の100年を作るために福島銀行は引き続きお客さまとの伴走支援に力を入れて地域経済の発展に貢献できる銀行を目指してまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2022年３月期　決算の概要　①

4期連続 本業収益増加

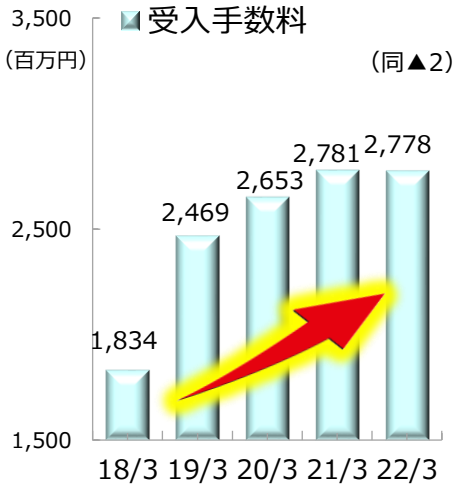


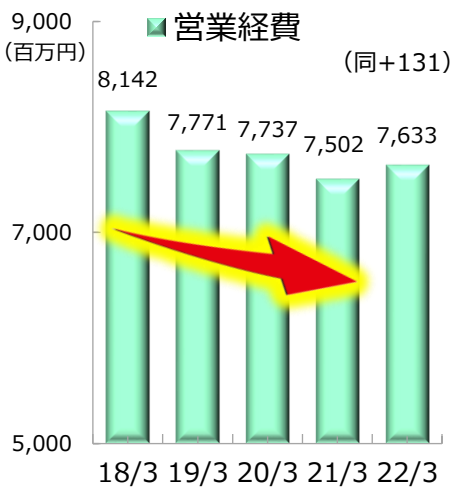
4期連続 本業収益増加

金融機関の本来の収益力をあらわす**本業収益**(投信解約益を除くコア業務純益)は

1,614百万円(前年度比 **＋256百万円増加**)

収益力強化が着実に進展





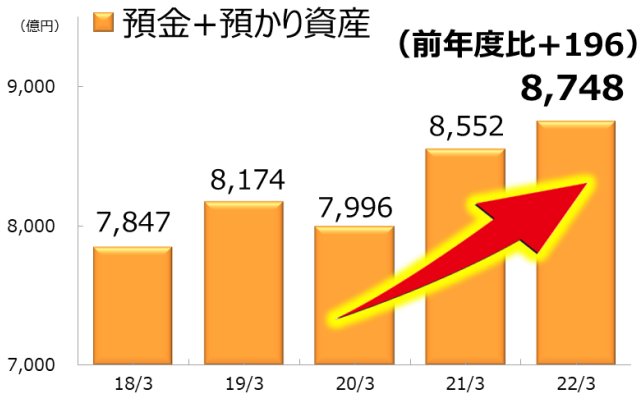
- コロナ対応融資を中心に地元中小企業へ積極的に対応し貸出金利息が増加

- 投信販売・金融仲介手数料などは増加したが、保険販売が減少

- PC1人1台化など行内DXの推進を図り物件費が増加

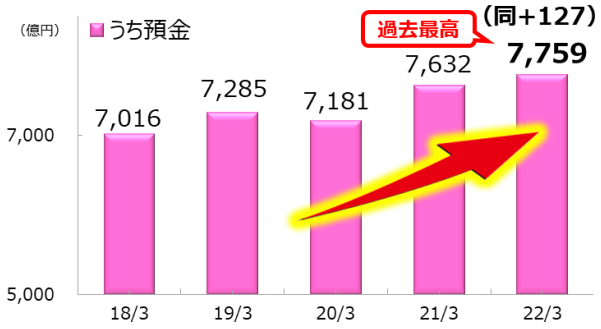
2022年３月期　決算の概要　②

預金（NCDを含む）・預かり資産

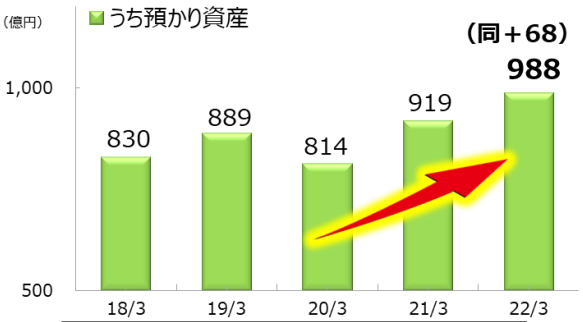


預金＋預かり資産の残高は8,748億円（前年度比**＋196億円増加**）と、**法人預金**を中心に増加

- **預金**は、法人預金が+89億円増加したことなどにより、同**＋127億円増加**
- **預かり資産**は、同**＋68億円増加**



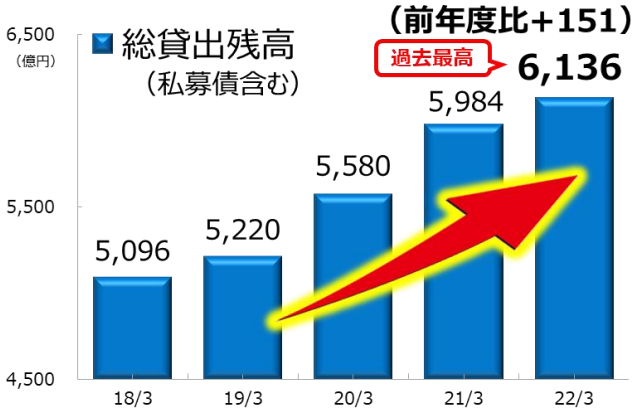
- 事業性融資先数の増加などにより法人預金が増加



- 投資信託は同＋51億円、保険は同＋34億円の増加

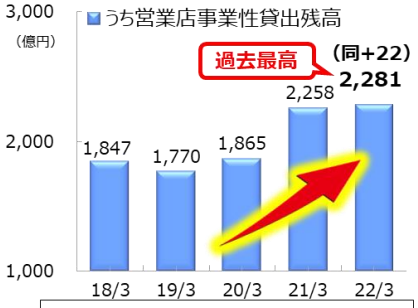
【無断転載禁止】

貸出（私募債含む）



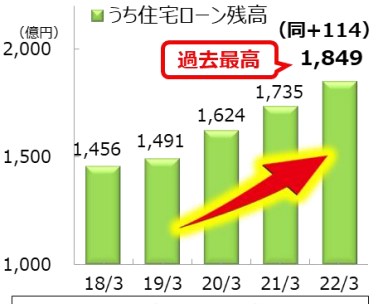
総貸出残高は、6,136億円
(前年度比**＋151億円増加**)
事業性貸出や**住宅ローン**を中心に増加

- **営業店事業性貸出残高**は、同**＋22億円増加**と、コロナ対応融資を中心とした地元中小企業向けの資金繰り支援に対応
- **住宅ローン残高**は、同**＋114億円増加**



- コロナ対応融資を中心に地元中小企業へ積極的に対応し同＋22億円増加

- SDGs危機管理サポート寄付型私募債など私募債受託が同＋54億円増加



- ソリューションプラザ、ローンプラザを中心に住宅ローンを推進し同＋114億円増加

【無断転載禁止】

中期経営計画
「ふくぎん 福島創生プロジェクト」

～企業活動(法人)とお客さまの生活(個人)を伴走支援し、地方創生に貢献します～

～私たちが暮らす地域のよりよい環境や暮らしやすい社会づくりに尽力します～

計画期間／2021年4月1日～2024年3月31日

5つの「**行動指針**」を掲げ、事業活動に全力で取組みます。

1. **お客さまの本業を徹底的に伴走支援します。**
2. **お客さまの生活を支援し、最適な資産形成をサポートします。**
3. **DX化の推進により、お客さまに新たなサービスを提供するとともに、業務の効率化・高度化、経費の削減を推進します。**
4. **ESG・SDGsに資する活動を実施し、よりよい環境と暮らしやすい社会づくりに貢献します。**
5. **経営基盤(経営資源の配置・人材育成・働きがいのある職場)を再構築し、収益力の強化を図ります。**

中期経営計画　数値目標（2021年4月～2024年3月）

2023年度（2024年3月期）目標

本業収益	ＯＨＲ	事業性融資先
10億円	**4% 改善**	**6,000先**
10億円以上の安定した本業収益を確保する	2020年3月期対比OHR4%の改善を図る ※ 2020年3月期OHR実績83.91%(単体ベース) ※ OHR(経費率)＝営業経費／業務粗利益（日銀特別当座預金制度に基づくOHR）	うちメイン先1,250先以上を目指す ※ メイン先：融資シェア1位をメイン先と定義

2020年度（2021年3月期）実績

13億円	実績 77.37% 7.79%改善	5,555先 うちメイン先1,139先

2021年度（2022年3月期）実績

16億円	実績 75.77% 9.70%改善	5,639先 うちメイン先1,245先

【無断転載禁止】

SBIグループとの連携

～ 2021年度の手数料収入において1.8億円超の増加に貢献 ～

個人	利便性向上 **AI導入**	● AI プラットフォーム『DataRobot』で開発したAIの導入	AIでビックデータを分析することにより、お客さま一人ひとりのニーズに沿った金融商品の紹介をするなど営業を高度化
	資産形成	● 共同店舗「福島銀行SBIマネープラザ郡山」の運営	ネット証券最大手であるSBI証券の金融商品・サービスを、対面による質の高いアドバイスと共に利用可能
	利便性向上 **DX導入**	● バンキングアプリの提供	アプリでの口座開設（来店不要、印鑑不要、通帳レス）や、家計簿アプリ「一生通帳by Moneytree」を提供
	利便性向上 **DX導入**	● 住信SBIネット銀行の『ミスター住宅ローンREAL』および『フラット35』の提供	当行ホームページから、住信SBIネット銀行の住宅ローンの各種申込手続等がWEB上で利用可能
個人・法人	補償の充実 低コスト	● SBI損保の「自動車保険」「火災保険」の提供	WEBで完結する「自動車保険」や、住宅ローンのお客さまが必要な補償を自由に選べる「火災保険」を提供
	補償の充実	● 住宅ローンおよび各種ローンに団体信用生命保険を付保	住宅ローンのほか、事業者、医療従事者および個人向けの各種ローンに団信を付保し、万が一の時に備えた安心を提供
法人	**本業支援**	**● 吉本興業ホールディングスと「お客さま紹介」で連携し地方創生に貢献**	**福島県住みます芸人「ぺんぎんナッツ」さんと、地方創生をコンセプトにする「BSよしもと」の番組を通して、福島県の魅力やお取引先の事業活動・サービス・商品等を全国に情報発信**
	本業支援 **DX支援**	● 『 ふくぎんビジネスマッチングシステム 』（ふくぎんBMS）の提供	お取引先のビジネスマッチングニーズ等を登録・データベース化し、高精度で成約確度の高い販路開拓や事業課題の解決等を実現
	業務効率化 **DX支援**	● クラウド型ワークフローシステム「承認Time」、「経費BankⅡ」、および「勤怠Reco」の提供	社内のあらゆる書類の申請、承認、回覧、保管を電子承認フローに載せられるクラウド型ワークフローシステムを提供
	利便性向上	● SBIレミットの海外送金サービスの提供	地域企業が抱える外国人労働者のために、簡単で利便性の高い海外送金サービスを提供
	人材支援	● 理系人材の採用支援サービスの提供	地域企業が必要とする技術職・研究職などを、理系人材マッチングサービスにより採用を支援
	人材支援 **DX支援**	● スキマバイトサービス「タイミー」の提供	アルバイト人材が必要な企業と、働きたい人の時間をスマホアプリでマッチングさせ多様な雇用形態を支援

2021年度の主な取り組み

100周年に向けて支えていただいた地域の皆様に感謝の気持ちをこめて『ふくぎん10の感謝』を実施しております。

お客さまへの本業支援サービス

～ ふくぎんビジネスマッチングシステム「ふくぎんBMS」のご提供 ～

DX支援

・お客さまの販路拡大やビジネスマッチングなど課題解決をサポートいたします

・SBIが出資するリンカーズ社システム**「ふくぎんBMS」**に、お客さまの「ビジネスマッチングニーズ」を登録し、広域に配信することで、より成約精度の高いビジネスマッチングが実現

● **ビジネスマッチングニーズ 例**

・売りたい（販路、受注、請負）　・買いたい（仕入、外注）
・人材採用、育成　・事業承継
・不動産（購入、売却、賃貸借、建設）
・経営支援（労務管理、社内DX整備）　など

● ご利用の流れ

① アカウント登録
② 有償契約を締結
～ 銀行員が営業担当に ～
③ マッチング成約

当行営業店および契約企業間で、マッチング情報を連携
・1人1台PCを利用し、課題解決策を検索・提案
・お客さま自身による検索・閲覧も可能

● 県内や当行取引先だけでなく広域に、お客さまの「ビジネスマッチングニーズ」を登録・配信することができ、より成約精度の高いビジネスマッチングが実現

Linkers　SBI NEO FINANCIAL SERVICES

事 例

売りたい
・材木店が国産檜を活用した「ひのきミスト」を発売し、販路開拓先を探していた

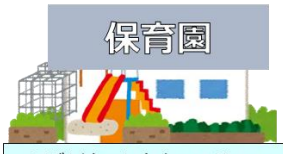
買いたい
・コロナ禍で、補助金が助成される除菌効果のある製品を探していた旅館業者や、子どもにも安心して使える除菌商品を探していた保育園を紹介しマッチング

● **国産檜を活用した「ひのきミスト・おもちゃ・家具」等を販売**

ふくぎんBMS

除菌効果のある「ひのきミスト」を使うと、お部屋の消臭やリラックス効果も期待でき、とても満足です。
（A旅館様）

助成金が補助される除菌効果のある製品を探していた



子ども達にも安心して使える除菌商品を探していた

「ひのきミスト」は天然素材なので子ども達にも安心して使え、助かります。
（B保育園様）

Linkers　SBI NEO FINANCIAL SERVICES

2021年度の主な取組み

SDGsの取組み

● 行員ボランティア活動

地域社会の一員として、地域イベントのお手伝いや商店街・駅前等の清掃活動、海岸の清掃活動などに幅広く参加し、地域に根差した社会貢献活動を継続的に行っております。（ボランティア活動 のべ1,213名2022年3月実績）

● 第10回 障がい者施設製品大展示即売会

障がいをお持ちの方々の自立をサポートすることを目的に、例年県内の授産施設約90事業所が参加・出展され、本店地下大ホールにて大展示即売会を開催してきました。

今年も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「カタログ販売」（10/11～11/12）で実施し、大変多くのお客さま・お取引先にご購入いただきましたおかげで、総額514万円の過去最高売上額となり、授産施設事業の活動を支援することができました。（第1～10回の累計総売上額3,487万円）

福島県授産事業振興会様より感謝状の贈呈

2021年度の主な取組み

● 「公益信託福島銀行ふるさと自然環境基金」助成

福島県における自然環境の保全を図り、自然と人間の調和のとれた社会づくりに資することを目的に1992年に設立され、以来今回で30回目の助成となり、助成先は81先、助成総額は1,882万円に達しております。

創業100周年記念事業

● 100周年記念 ふくしま応援定期預金「 わくわくくじら 」

（2021年10月1日～2022年3月31日）

創業100周年記念事業の一環として、地元への感謝の気持ちを込めてご提供する定期預金です。

当行は、SDGsの取組みの一環として、障がい者の支援・ボランティア等に力を入れており、福祉活動を応援するため「わくわくくじら」のお預り金額に応じて、福島県内の福祉関連団体等へ寄付を行います。

（預入累計4,283件　総額194億円
2022年3月実績）

DX化に向けた取組み

DX推進に向けた取組み

～ 次世代バンキングシステムの構築 ～

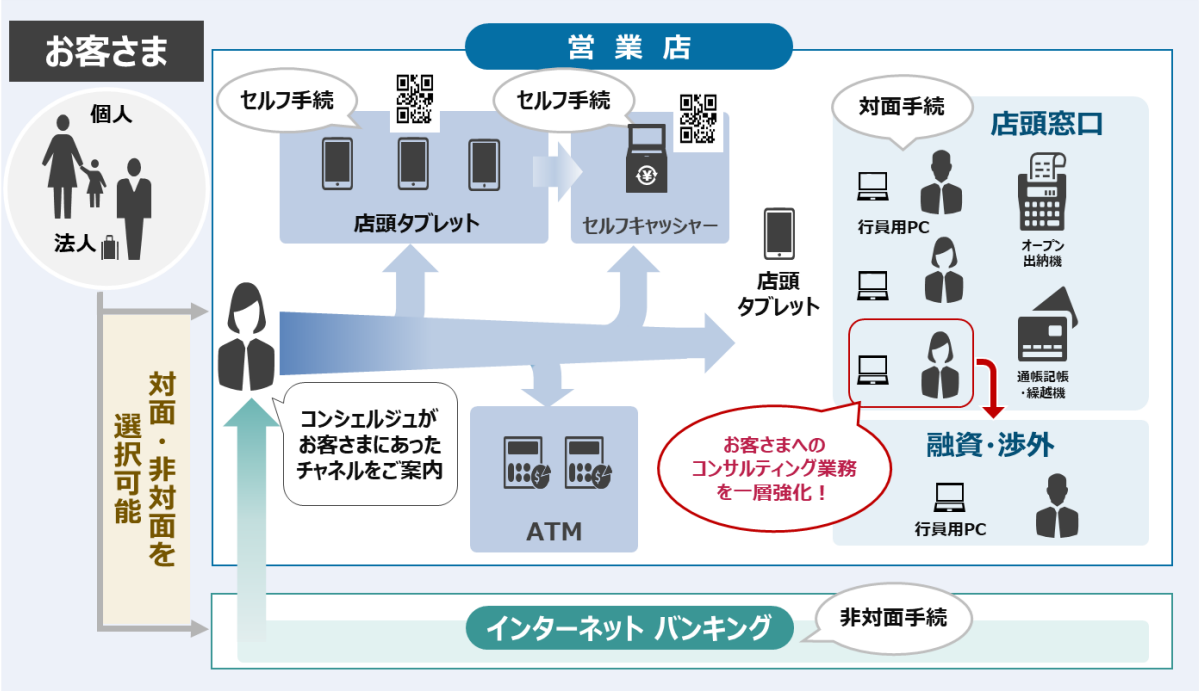
金融機関の心臓部**「基幹系システム」**を2024年中に稼働予定

- 当行とSBI、フューチャーアーキテクトの3社で、**「クラウドサービス（AWS）」**＊1上に新システムを設計・構築。（＊1インターネット経由でサーバーやネットワーク設備を利用できる仕組み）
  従来、数年に1度の大規模システム更新時に多額投資が必要であったが、年間利用料モデルに移行し、**システムコストの平準化を実現**

- お客さまは伝票を記入する代わりに、**店頭のタブレット端末から簡単操作で入出金等が可能。**窓口業務の効率化を図り、**お客さまへのご提案や相談業務の充実を図る**

- **「オープンAPI」**＊2により、様々なチャネルやデバイス（機器）からアクセス可能となり、システム機能の新規・追加開発が低コスト・短期間で実現。**最新サービスへの対応が柔軟かつスピーディーに**なり、お客さまへ最新の金融商品・サービスを素早く提供可能
  （＊2システム接続仕様を外部事業者に公開しアクセスを認め、フィンテック事業者等と連携しやすく安全なサービス提供が可能な仕組み）

《 営業店 イメージ図 》



福島銀行

総合企画部
福島県福島市万世町2番5号
TEL：024-525-2525（代）
https://www.fukushimabank.co.jp/